

車いすの目線で七尾案内

市在住の桶屋さん バリアフリー状況紹介

駅など調べ観光冊子に

脳性まひで手足などに障害があり、車いす生活を送る桶屋善一さん(60)＝七尾市在住＝が、車いす利用者用の観光案内冊子の作成に取り組んでいる。自身がJR七尾駅などを調べてまとめた冊子を駅や観光施設、福祉関係機関に配布する。来春の北陸新幹線金沢開業を控え、七尾駅では桶屋さんの調査内容を駅員研修に活用しており、障害者に配慮したおもてなしで観光客を迎える。



再開発ビル内のバリアフリーの状況を調べる桶屋さん
＝今年9月、JR七尾駅前

桶屋さんはデジタルカメラが趣味で、2010年ごろから電動車いすに取り付けたカメラを使って市内の観光地を撮影している。自身が車いすを利用していることから、観光地のバリアフリーに関心があり、調査を続けてきた。北陸新幹

線金沢開業以降、七尾駅利用者が増加が見込まれるため、桶屋さんは今年、駅周辺を中心にバリアフリーの状況を調べることにした。駅構内では、車いすで改札が通れるかどうかや多目的トイレの使い勝手などを

調べた。自動券売機は車いすからでは手が届かないため、窓口で購入した方がよいことや、駅からの介護タクシーの利用手順を写真も使ってまとめた。

駅のバスターミナルについては車いすでの乗車が可能なバスを紹介し、スロープを使って乗り降りする順序を分かりやすく解説する。このほか、駅周辺のスロープや誘導ブロックの有無、道幅なども細かく調べている。七尾駅の小林栄一駅長は「桶屋さんの調査を参考にし、快適に利用できる駅を目指したい」と話した。

桶屋さんは来年、能登食祭市場や花嫁のれんで知られる一本杉通りを調べる計画で、将来的には金沢駅や富山駅も調査する。桶屋さ

んは「車いす利用者が安心するよな冊子にしたい」として楽しく七尾を観光でき

知事表彰を大念寺地区老人クラブ報告
志賀町役場
がんばる老人クラブ知事

表彰を受けた志賀町の大念寺地区老人クラブ連合会の南進会長は26日、町役場を訪れ、庄田義則副町長に受賞を報告した。南会長は地



門松を仕上げる有志
＝珠洲市若山公民館

若山公民館で有志が組み立て

珠洲

珠洲市若山公民館で26日、公民館振興協力委員会の有志5人が高さ約3メートルの門松を組み立て、公民館を

門松作り

迎春ムードに包んだ。地域で集めた松、竹、梅に加え、ユズリハなどで仕上げた。若山地区の長寿会のお年寄り15人は公民館の清掃などに取り組んだ。

珠洲署に寄贈

少年補導員連絡会

珠洲少年補導員連絡会員の泉浩治さん(73)＝珠洲市上戸町北方＝は26日、会員7人とともに珠洲署を訪れ、門松一對を寄贈した。中嶋道行署長らの前で高さ2・5メートルの門松を仕上げ、「交通安全」「地域安全」の札を立てて年末年始の平穏を願った。